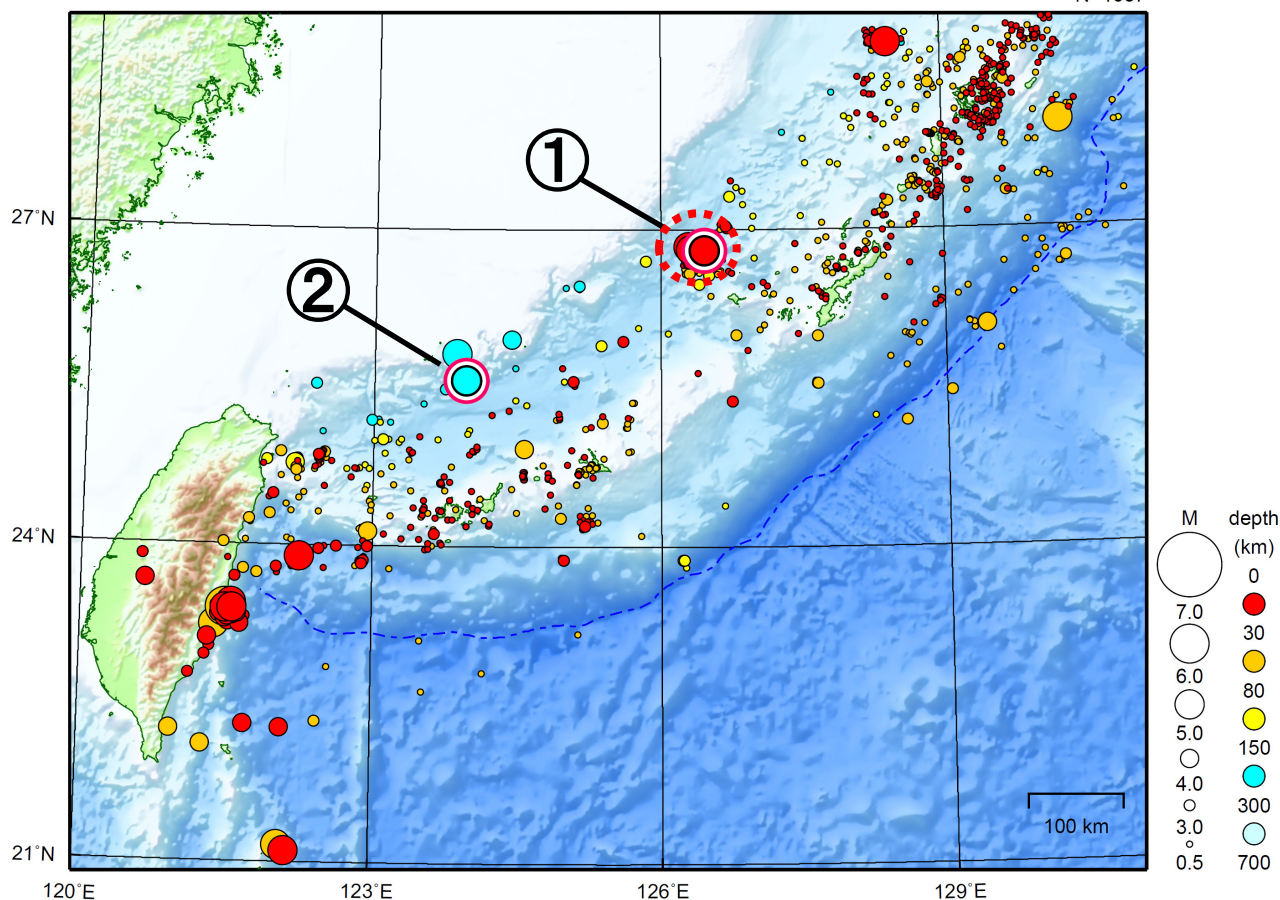


沖縄地方

2022/03/01 00:00 ~ 2022/03/31 24:00

N=1637



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 沖縄本島北西沖では3月中に最大震度1以上を観測した地震が17回（震度3：1回、震度2：7回、震度1：9回）発生した。このうち30日のM5.5の地震により最大震度3を観測した。
- ② 3月19日に石垣島北西沖でM5.9の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

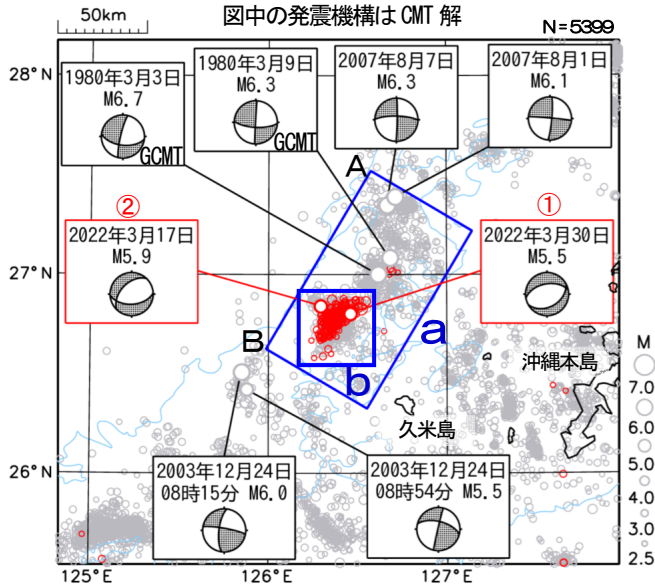
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980年1月1日～2022年3月31日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2022年3月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

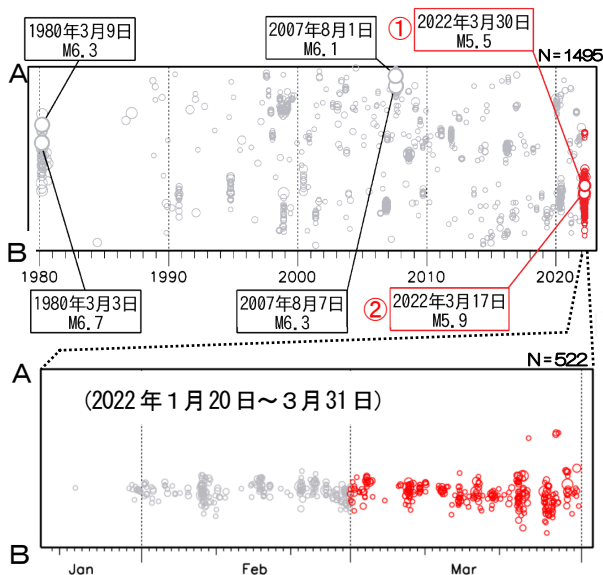


図中の青色の等値線は水深1500mを示す。

※1980年3月3日および3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

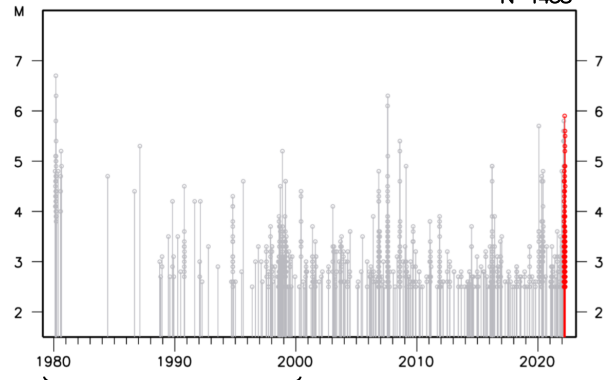
領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

(1980年1月1日～2022年3月31日)



領域a内のM-T図

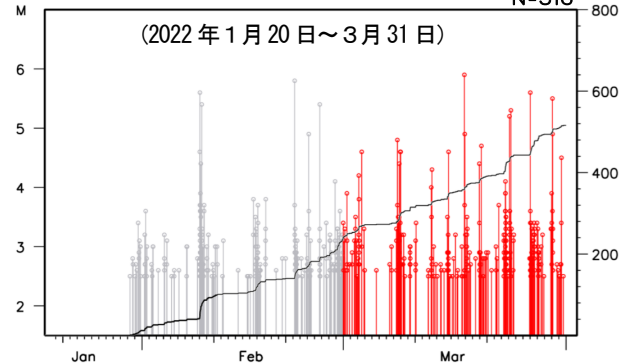
N=1495



(この期間の検知能力は $M > 2.5$)

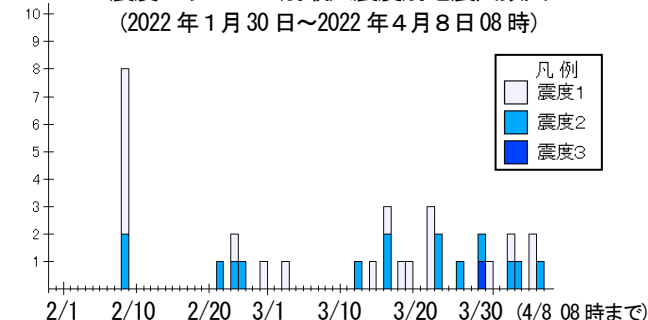
領域b内のM-T図及び回数積算図

N=516



震度1以上の日別最大震度別地震回数図

(2022年1月30日～2022年4月8日08時)



震度1以上の最大震度別地震回数表

(2022年1月30日～2022年4月8日08時)

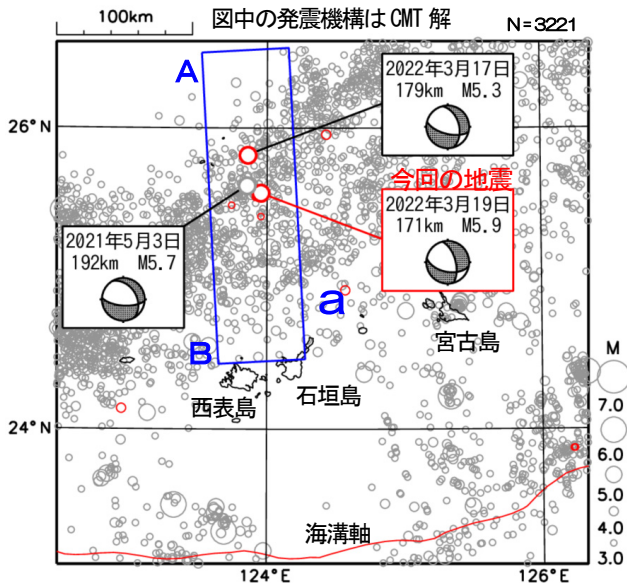
月別	最大震度別回数			震度1以上を 観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
4月1日～4月8日08時	3	3	0	6	36
総計	20	15	1		36

3月19日 石垣島北西沖の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2022年3月31日、
深さ 50～250km、 $M \geq 3.0$)
2022年3月の地震を赤く表示

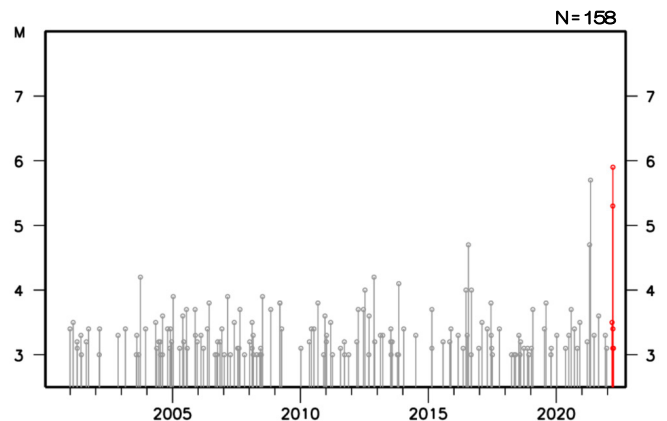
図中の発震機構はCMT解



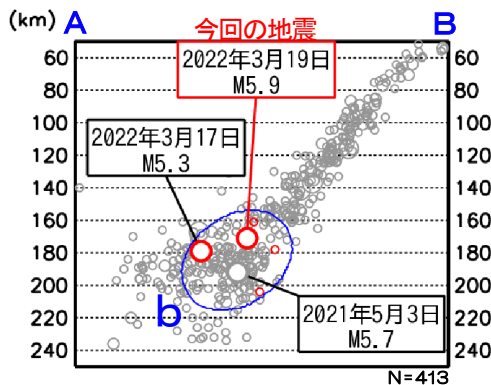
2022年3月19日04時04分に石垣島北西沖の深さ171kmでM5.9の地震 (最大震度3) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近 (領域b) では、M4.0程度の地震が時々発生しており、2021年5月3日にM5.7の地震 (最大震度2) が発生している。

領域b内のM-T図



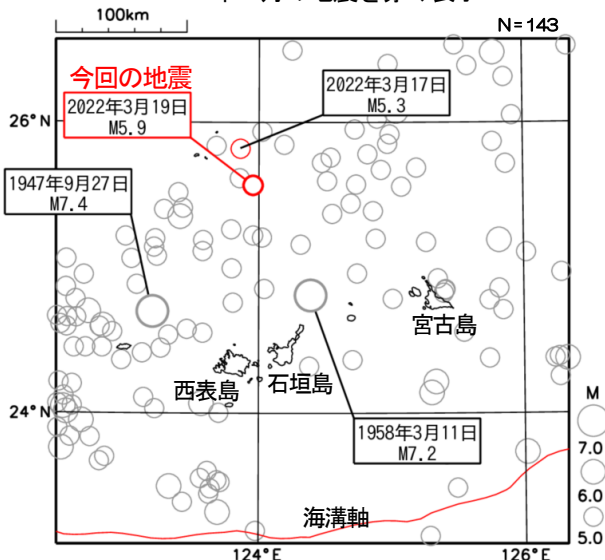
領域a内の断面図 (A-B投影)



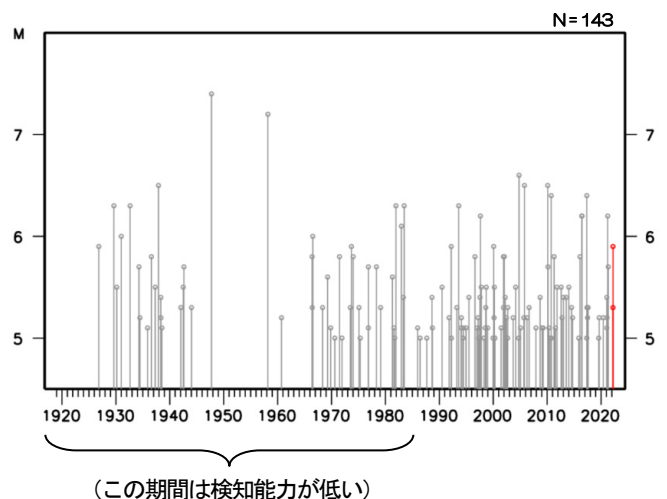
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去にM6.0以上の地震が時々発生しており、1947年9月にはM7.4の地震 (最大震度5) が発生し、先島諸島で死者5人のほか、地割れや落石、山崩れ等の被害が生じた (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2022年3月31日、
深さ 50～250km、 $M \geq 5.0$)
2022年3月の地震を赤く表示



左図領域のM-T図



(この期間は検知能力が低い)